

視能訓練士学科(昼間部 3年制)

系列		開講科目名	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
							前期	後期	前期	後期	前期	後期						
基礎分野	科学的思考の基盤、人間と生活	教育学 Pedagogy	必修	講義	15	(1)	15						教育とは何かを考え、家庭・社会・学校との関わりの中で人の役割や発達を理解し、乳幼児の成長についての理解を深める。	△	◎			
		医療倫理学 Ethics	〃	〃	15	(1)					15		倫理の概念を学習し、その歴史や人間を深く捉えることの意味を追求し、人間理解の多様性や面白さを学ぶ。	◎	◎			
		スポーツと健康 I (実習) Sports and Health(lab)	〃	実習	30	(1)	30						高齢化社会の中で、生涯の生活に必要な身体・健康と精神の健康を総合的に学習する。		◎			
		スポーツと健康 II Sports and Health	〃	講義	15	(1)		15					生涯の生活に必要な健康や体力づくりを運動生理学的に考え学ぶ。		◎			
		英語 I English I	〃	〃	30	(2)	30						コミュニケーションの1つとしての日常英会話に慣れ、日常英会話を使うことができるように学ぶ。	△	◎			
		英語 II English II	〃	〃	30	(2)		30					文法を理解し聞き取ることができるように、Listeningを中心に学習する。	△	◎			
		英語 III English III	〃	〃	30	(2)			30				文法、語彙力の基礎を固め、書く、読む、聞く、話すの4技能をバランスよく伸ばす。	△	◎			
		英語 IV English IV	〃	〃	30	(2)				30			眼科医用英語を学び、英語での眼科文献が理解できるように学習する。また実践的臨床英会話も学ぶ。	△	◎			
		基礎教養 I General Education I	〃	〃	15	(1)	15						四則演算、漢字、四字熟語などを中心に基礎学力の向上を目指す。		◎			
		基礎教養 II General Education II	〃	〃	15	(1)		15					語彙・文章読解・時事問題を学び検定試験合格を目指す。		◎			
		人間関係論 I Human Relationship I	〃	演習	30	(1)	30						医療人としてのマナーを身につけ、ポートフォリオを通じて自己肯定感を養うことにより、人間関係のあり方を学ぶ。	◎	◎			○
		医療事務総論演習 I General Medical Clerical Work (exercise) I	〃	〃	30	(1)			30				コスト意識を持った医療人としての心構えを身につけ、医療保険制度について学ぶ。		◎	○		
		医療事務総論演習 II General Medical Clerical Work (exercise) II	〃	〃	30	(1)				30			医療行為と保険点数計算の演習を通して、医療事務の基本を学び検定試験合格を目指す。		◎	○		
		キャリアマネジメント論 Career Management	〃	講義	15	(1)				15			仕事とは何かを考え、自身のキャリアデザインを構築する。履歴書の書き方、面接の受け方、筆記試験対策も学ぶ。	○	◎			

視能訓練士学科(昼間部 3年制)

系列		開講科目名	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
							前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖生理学Ⅰ Anatomy Physiology I	必修	講義	30	(2)	30						身体各器官の名称・機能・構造など、正常構成を学習する。		△	◎	△	
		解剖生理学Ⅱ(実習) Anatomy Physiology II	〃	実習	30	(1)		30					人体模型の観察を通して、各器官の位置・形状・構造の学習をする。		△	◎	△	
		心理学 Psychology	〃	講義	15	(1)	15						心理学の基礎から学び、知能、学習、情緒、発達などの人間の心理や行動の奥にある原理を学ぶ。		○	△	○	
		生物学Ⅰ Biology I	〃	〃	30	(2)	30						動物分類、細胞、組織発生、遺伝について学び、生物を系統的に理解する。			○		◎
		生物学Ⅱ Biology II	〃	〃	30	(2)		30					生体のしくみを学び、生物の生命現象の基本的理解をする。			○		◎
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生・精神保健 Basic Public HygienePsychiatric Hygiene	〃	〃	15	(1)					15		健康をめぐる社会医学的な諸問題について学び、精神衛生とその障害について理解する。		◎	△	○	
		眼疾病学Ⅰ Ophthalmic Disease Studies I	〃	〃	30	(2)		30					数々の眼科的疾患について解剖学的部位別に系統立てて学習し、疾患と各種検査の関連も学ぶ。			◎	○	
		眼疾病学Ⅱ Ophthalmic Disease Studies II	〃	〃	30	(2)			30				眼科的疾患及び眼科関連全身疾患について解剖学的部位別に系統立てて学習し、成人と小児の疾患の違いを視能矯正学と関連づけて考える。			◎	○	○
		全身疾病学 Systemic Disease Studies	〃	〃	15	(1)				15			小児の発達と眼疾患を伴う全身疾患・症候群について学ぶ。また生活習慣病の原因となる疾患についての理解を深める。			◎	○	
		社会福祉 Social Welfare	〃	〃	30	(2)					30		社会福祉への関心と理解を深め障害者の方との交流の中で思いやり、優しさのある視能訓練士の基礎を養う。	○			○	
		臨床心理学 Clinical Psychology	〃	〃	30	(2)					30		心理アセスメントを通し、自らの性格傾向を知り、検査・治療・訓練を受ける患者様の心理を理解し、より良い信頼関係を形成する為の手法を学ぶ。				◎	
		障害福祉総論 welfare for the handicapped	〃	〃	15	(1)		15					認知症、発達障害など様々な障害を抱えた対象者の障害特性を学び、その特性に合った関わり方について、理解できるようになる。	◎			△	
	視覚機能の基礎と検査機器	情報科学 Information Science	必修	講義	30	(2)	30						コンピュータ概念と代表的なソフトウェア基本操作を実際に使用しながら医療のIT化に対応できるよう学習する。		◎			
		数学・統計学 Mathematics /Statistics	〃	〃	15	(1)				15			統計、確率等の数学的分野を学ぶと同時に医学分野における統計学の必要性を理解し、基礎知識を習得する。		◎	△	△	
		視器の解剖生理・病理学Ⅰ Eyeball Anatomy Physiology Medicine	〃	〃	30	(2)	30						眼球ならびに眼瞼・外眼筋・涙器などの解剖・生理・病理について学習し、眼科学の基本を習得する。			◎	○	
		視器の解剖生理・病理学Ⅱ Eyeball Anatomy Physiology Medicine	〃	〃	30	(2)		30					眼の自律神経支配、視覚伝導、外眼筋の解剖や作用について学ぶ。			◎	○	
		視器の解剖生理・病理学Ⅲ Eyeball Anatomy Physiology Medicine	〃	〃	30	(2)			30				眼圧検査、角膜検査、涙液検査など、前眼部に関わる検査について学ぶ。			◎	○	
		視器の解剖生理・病理学実習Eyeball Anatomy Physiology Medicine(lab)	〃	実習	30	(1)	30						眼球および眼球付属器に関する検査実習を行う。			◎	○	

視能訓練士学科(昼間部 3年制)

系列		開講科目名	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
							前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門 基礎 分野	保健医療福祉と視能障害のリハビリテーションの思念	関係法規・医学概論 Related Regulations Basic Medicine	〃	講義	15	(1)	15						視能訓練士法の内容を習熟し特殊専門性の意義を学ぶ。医学全般を要約しつつ、その進歩の歴史を学び、基本的知識を習得する。	◎	○			
		保育(発達) Child Education	〃	〃	15	(1)		15					保育や養護教育の基礎を学び乳幼児に対する理解を深め、実践的な学習をすることで発達原理を学ぶ。	◎			△	
		視覚障害総論 (法律・等級・補助具) Visual Disorder	〃	〃	15	(1)			15				視覚障害の定義、視覚障害に関する法律と等級についての基礎知識を学ぶ。また眼疾患と障害の関係についても学習する。			○	◎	
		視覚障害総論演習 Visual Disorder (lab)	〃	〃	30	(1)		30					弱視眼鏡、拡大読書器、ルーペ、白杖などを実習し、処方の仕方を学ぶ。また視覚障害者の疑似体験や施設見学を通して視能訓練士の役割を考える。			○	◎	○
		看護学概論 General Nursing	〃	〃	15	(1)			15				看護学や清潔不潔の概念、救急処置の方法を学ぶことにより、看護師と視能訓練士とのより良い連携について説明できるようになる。			○	◎	
		視能障害実践論 Visual Disorder	〃	〃	15	(1)					15		ロービジョンケアを臨床応用できるように、症例や国家試験などを実践論を参考にしながら学ぶ。			○	◎	○
		高次脳機能障害学 higher brain dysfunction	〃	〃	15	(1)			15				高次脳機能障害は何か、特に視知覚の障害について学ぶことにより、チーム連携医療参入の礎を築く。			○	◎	
専門 分野	基礎視能矯正学	物理学 Physics	必修	講義	15	(1)		15					物理学の法則や原理について、幾何光学に関する分野を中心に学習する。		○	○	△	◎
		視覚生理学Ⅰ Visual PhysiologyⅠ	〃	〃	30	(2)	30						眼・視神経・脳のそれぞれの視覚への関わり方・役割・機能について学び、視覚生理学の基礎を習得する。			◎		
		生理光学Ⅰ Physiological OpticsⅠ	〃	〃	30	(2)	30						眼球の光学的理解を深めて、屈折・瞳孔・調節の生理と機構、ならびに屈折異常について学習する。			◎		
		視能矯正学総論Ⅰ Basic OrthopticsⅠ	〃	〃	30	(2)	30						視能訓練士の歴史、視能矯正の枠組みを学び、斜視・弱視の定義を理解する。			◎		
		視能矯正学総論Ⅱ Basic OrthopticsⅡ	〃	〃	30	(2)	30						外眼筋の作用と眼球運動、輻湊・開散・調節の関連性について学ぶ。両眼視の発達と定義について学ぶ。			◎		
		視能矯正学総論Ⅲ Basic OrthopticsⅢ	〃	〃	30	(2)	30						正常両眼視と両眼視の障害について学ぶ。斜視・弱視について総論を学ぶ。			◎		
	視能検査学	視覚生理学Ⅱ Visual PhysiologyⅡ	〃	〃	30	(2)	30						視野検査を中心にその測定原理と方法について学習する。			◎		
		視覚生理学Ⅲ Visual PhysiologyⅢ	〃	〃	30	(2)		30					電気生理学検査を中心にその検査方法を学ぶ。			◎		
		視覚生理学実習 Visual Physiology(lab)	〃	実習	30	(1)			30				視力検査・視野検査・明暗順応検査・電気生理学的検査の仕組みを理解し実習する。			◎		○
		生理光学Ⅱ Physiological OpticsⅡ	〃	講義	30	(2)	30						視力検査の基本、他覚的屈折検査、スキアスコープ、自覚的屈折検査の理論と方法を学ぶ。			◎		
		生理光学Ⅲ Physiological OpticsⅢ	〃	〃	30	(2)		30					眼鏡、コンタクトレンズなどによる屈折矯正の方法を学び処方できるようにする。また小児に即した視力検査方法について理解を深める。			◎		
		生理光学実習 Physiological Optics (lab)	〃	実習	30	(1)		30					屈折検査、調節検査の方法、コンタクトレンズの調整や装用練習にいたるまで、光学機器を用いて実践により身につける。スキアスコープの習得を目指す。			◎		○
		医療光学機器概論 Basic Medical Engineering	〃	演習	15	(1)		15					眼科における写真撮影検査の重要性を学び、眼科医療現場で必要な写真技術の理論・方法を実践的に習得する。また機器メンテナンスを学ぶ。			◎		

視能訓練士学科(昼間部 3年制)

系列		開講科目名	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
							前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門分野	視能検査学	視能検査学Ⅰ Orthoptic ExaminationⅠ	必修	講義	30	(2)			30				斜視の検査を理解し、斜視の定性、定量検査を学ぶ。			◎		
		視能検査学Ⅱ Orthoptic ExaminationⅡ	〃	〃	30	(2)			30				両眼視機能検査、立体視検査、網膜対応検査等の理論を理解し、学ぶ。			◎		
		視能検査学Ⅲ Orthoptic ExaminationⅢ	〃	〃	30	(2)					30		斜視症例を通して、斜視、眼球運、両眼視機能検査についての理解を深める。			◎		
		視能検査学実習Ⅰ Orthoptic ExaminationⅠ	〃	実習	30	(1)			30				視能検査(屈折、視野など)について、臨床を想定した実習を行い考察力を養う。			◎		
		視能検査学実習Ⅱ Orthoptic ExaminationⅡ	〃	〃	30	(1)			30				視能検査(斜視、両眼視など)について臨床を想定した実習を行い、考察力を養う。			◎		
		視能検査学総合実習Ⅰ Comprehensive Orthoptic ExaminationⅠ	〃	〃	30	(1)			30				視能訓練士としての仕事の全体像をチーム医療の考え方とともに学び理解する。様々な疾患を持った患者への関わり方を医療・福祉の面から学ぶ。	○	○	○	◎	○
		視能検査学総合実習Ⅱ Comprehensive Orthoptic ExaminationⅡ	〃	〃	30	(1)			30				最新の検査機器やコンタクトレンズを使った実習を行う。また幼稚園検診、実習前実技試験などを通して、場面に即した検査の進め方、考察の立て方など互いに教授する。	○	○	◎	○	○
		視能検査学総合実習Ⅲ Comprehensive Orthoptic ExaminationⅢ	〃	〃	30	(1)					30		患者事例や実習前問診OCSEを通して、患者1人1人の病態に合わせた検査の組み立て方と実施、検査結果の読み方を学ぶ。	○	○		◎	○
	視能障害学	眼科薬理学 Ophthalmic Medication	〃	講義	30	(2)		30					視器に関わる自律神経系・中枢神経系・末梢神経系の働きと、それらの神経に関わる薬剤の効果、ならびに眼疾患・眼科関連全身疾患と薬剤の主作用・副作用を学ぶ。			◎	○	
		神経眼科学Ⅰ Neuro OphthalmologyⅠ	〃	〃	30	(2)			30				脳神経の機構を理解し、視覚路及び眼球運動経路の解剖生理と頭蓋内疾患による眼科的症状を学ぶ。			◎	○	
		神経眼科学Ⅱ Neuro OphthalmologyⅡ	〃	〃	30	(2)				30			脳神経と眼科的疾患を理解したうえで、その検査法について学び、実際の検査が組み立てられるようにする。			◎	○	
		視能障害学演習 Visual Disordar lab	〃	演習	30	(1)					30		眼疾患学の総復習を行い、症例問題を国家試験症例問題を通し、臨床応用できる実力を養う。			○	◎	
	視能訓練学・視能訓練実習	視能矯正学各論Ⅰ Detailed OrthopticsⅠ	必修	演習	30	(2)		30					内斜視および外斜視、斜視の各型、特殊斜視・麻痺性斜視の各型と臨床的特徴を学ぶ。			◎	○	
		視能矯正学各論Ⅱ Detailed OrthopticsⅡ	〃	〃	30	(2)			30				心因性視力障害、弱視総論、弱視治療の原理と原則について学ぶ。			◎	○	
		視能矯正学各論Ⅲ Detailed OrthopticsⅢ	〃	〃	30	(2)				30			斜視の非親血的治療方法と親血的治療方法についての基礎知識を学ぶ。			◎	○	
		視能矯正学各論Ⅳ Detailed OrthopticsⅣ	〃	〃	30	(2)					30		視覚生理学の総復習を行い、症例問題を通し国家試験対策として、合格にむけて実力の向上をはかる。			◎	○	
		視能矯正学各論Ⅴ Detailed OrthopticsⅤ	〃	〃	30	(2)					30		生理光学の総復習を行い、症例問題を通し国家試験対策として、合格にむけて実力の向上をはかる。			◎	○	
		視能矯正学各論実習 Detailed Orthoptics(lab)	〃	実習	30	(1)					30		小児から老人までを想定した実習を通し、患者全体像を診て問題解決し、実践する総合的な力を養う。			◎	○	
		視能訓練学演習 Orthoptics trainings(lab)	〃	演習	30	(1)					30		国家試験や様々な症例を通して視能矯正訓練、手術、プリズム治療法を理解し応用できる実践力をつける。	○	○	○	◎	○

視能訓練士学科(昼間部 3年制)

系列		開講科目名	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
							前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門分野	臨床実習	臨床実習Ⅰ Clinical TrainingⅠ	〃	実習	45	(1)		45					臨床の場で、Dr.、視能訓練士、看護師、事務職との連携を学び、チーム医療とは何かを学ぶ。また眼科検査の流れを掴む。	○	○	○	◎	○
		臨床実習Ⅱ Clinical TrainingⅡ	〃	〃	180	(4)				180			医療従事者としての医療倫理に基づいて視能訓練士にとって必要な臨床現場での問題解決能力を身につけ、今後の自己課題を見つける。	○	○	○	◎	○
		臨床実習Ⅲ Clinical TrainingⅢ	〃	〃	405	(9)					405		学内実習での学びを実際医療現場でいかに実践するか、技術的向上を目指す。また患者との関わり方・医療人としての自覚を再認識し、視能訓練士のあり方を考える。	○	○	○	○	◎
その他	国際教育活動	国際コミュニケーション論Ⅰ International communicationⅠ	〃	演習	15	(1)				15			海外研修の準備としてアメリカや研修施設について理解し、入国審査、自己紹介をなど基礎英会話を学ぶ。	△	○			◎
		国際コミュニケーション論Ⅱ International communicationⅡ	〃	〃	15	(1)					15		海外研修に備えて、プレゼン資料作成、文化交流の準備をする。	△	○			◎
	国家試験対策演習	国家試験対策演習Ⅰ Prep for National Examination	〃	〃	15	(1)		15					国家試験受験に向けて学習習慣、学習方法の確立を目指す。			◎		○
		国家試験対策演習Ⅱ Prep for National Examination	〃	〃	15	(1)			15				国家試験受験に向けて、主に基礎科目、専門基礎科目についての理解を深める。			◎		○
		国家試験対策演習Ⅲ Prep for National Examination	〃	〃	15	(1)				15			国家試験受験に向けてノート作成や協同学習の仕方など実践的な学習方法を身につける。			◎		○
	国家試験対策演習	国家試験対策演習Ⅳ Prep for National Examination	必修	演習	30	(2)					30		国家試験受験に向けて問題演習などに取り組み、基礎知識と専門科目とを結びつけ、応用力を養う。			◎		○
		国家試験対策演習Ⅴ Prep for National Examination	〃	〃	30	(2)						30	神経眼科学を中心に総復習を行い、国家試験対策として出題傾向をさぐり、合格にむけて実力の向上をはかる。			◎		○
		国家試験対策演習Ⅵ Prep for National Examination	〃	〃	30	(2)						30	眼科薬理学を中心に総復習を行い、国家試験対策として出題傾向をさぐり、合格にむけて実力の向上をはかる。			◎		○
		国家試験対策演習Ⅶ Prep for National Examination	〃	〃	30	(2)						30	視器の解剖学・弱視を中心に総復習を行い、国家試験対策として出題傾向をさぐり、合格にむけて実力の向上をはかる。			◎		○
	卒業研究	研究方法論Ⅰ Research MethodologyⅠ	〃	講義	15	(1)			15				文献講読を通し、研究とは何か、研究デザインの手法を学ぶ。		○			◎
		研究方法論Ⅱ Research MethodologyⅡ	〃	〃	15	(1)				15			身近なテーマに関する研究計画を立て、実験、データの収集、集計、解析の仕方を学ぶ。		○			◎
		卒業研究Ⅰ A Study of Graduate	〃	〃	15	(1)					15		実際に興味ある研究テーマを決め、データ収集、分析、統計を行う。		○			◎
		卒業研究Ⅱ A Study of Graduate	〃	演習	60	(4)						60	研究テーマについての分析、考察、結論を導き出し、ひとつの研究テーマについて論文を完成させる。		○			◎

視能訓練士学科(昼間部 3年制)

系列		開講科目名	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
							前期	後期	前期	後期	前期	後期						
その他	コース活動	視能学総合演習Ⅰ Comprehensive Seminar for orthopticsⅠ	必修	演習	30	(1)	30						3コースに分かれ2年生と合同で視能訓練士として基礎的な内容を学ぶ。	○	◎	△	○	
		視能学総合演習Ⅱ Comprehensive Seminar for orthopticsⅡ	〃	〃	30	(1)		30					3コースに分かれ2年生と合同で視能訓練士として実践的な内容を学ぶ。	○	◎	△	○	
		視能学総合演習Ⅲ Comprehensive Seminar for orthopticsⅢ	〃	〃	30	(1)			30				コース活動を通して、リーダー的な役割を担い、主体的に計画をたてながら実践する。	○		△	○	◎
		視能学総合演習Ⅳ Comprehensive Seminar for orthopticsⅣ	〃	〃	30	(1)				30			コース活動の集大成として、臨床実習での学びに活かせる総まとめを行う。	○		△	○	◎
総時間数					2895	144	450	495	450	570	525	405						

視能訓練士学科(昼間部 3年制)こどもリハビリテーション支援専攻コース

その他	こどもリハビリテーション	こどもリハビリテーション 総合演習Ⅰ General Rehabilitation Exercise for ChildrenⅠ	選択	演習	30	(1)	30						こどもに関わるリハビリテーションに関して演習を通じて、総合的に学ぶ。
		こどもリハビリテーション 総合演習Ⅱ General Rehabilitation Exercise for ChildrenⅡ	〃	〃	30	(1)		30					こどもに関わるリハビリテーションに関して演習を通じて、総合的に学ぶ。
		こどもリハビリテーション 総合演習Ⅲ General Rehabilitation Exercise for ChildrenⅢ	〃	〃	30	(1)			30				こどもに関わるリハビリテーションに関して演習を通じて、総合的に学ぶ。
		こどもリハビリテーション 総合演習Ⅳ General Rehabilitation Exercise for ChildrenⅣ	〃	〃	30	(1)				30			こどもに関わるリハビリテーションに関して演習を通じて、総合的に学ぶ。